

1 . 評 価 結 果 概 要 表

作成日 平成 20年 7月 11日

【評価実施概要】

事業所番号	3870300690		
法人名	医療法人 三善会		
事業所名	グループホーム丸の内はとぼっば		
所在地	愛媛県宇和島市丸之内 1 - 4 - 7 (電話) 0895-24-1002		
管理者	清水 素美子 片山 綾子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成20年6月13日	評価確定日	平成20年7月11日
【情報提供票より】 (平成20年4月1日事業所記入)			
(1)組織概要			
開設年月日	平成16年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	9人, 非常勤 7人, 常勤換算 12.6人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有 (円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,160 円		
(3)利用者の概要 (平成20年4月1日現在)			
利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護 1	5 名	要介護 2	6 名
要介護 3	3 名	要介護 4	3 名
要介護 5	0 名	要支援 2	1 名
年齢	平均 85 歳	最低 65 歳	最高 105 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】	
●ご夫婦で入居されている方へは、お二人の時間を大切にできるよう支援されている。 ●長風呂を望まれる方には、体調等もみながら十分に時間をかけて入浴できるよう支援されている。時には、利用者と職員で温泉に出かけ、楽しめることもある。 ●毎日、隣の神社に参拝し境内を掃除されたり、かまぼこ板の絵を応募されたり、短歌や俳句をたしなまれ雑誌や新聞に投稿される等、利用者個々の生活歴を活かしながら、できることを無理なく行えるような支援に努めておられる。月2回のピアノの日には、懐かしい歌をみんなで合唱されている。	
【質向上への取組状況】	
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	
・前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、利用者が地域とかかわり生活できるよう取り組みをすすめておられる。	
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	
・自己評価は、職員個々に取り組み、ユニットごとに管理者がまとめられた。職員間のコミュニケーションの大切さ、自立支援のあり方や外出支援等について、見直す機会とされた。	
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	
・運営推進会議時、事業所の取り組みをお話し、外部研修の報告等をされている。現在、ご家族や地域の方の出席は少なめである。	
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	
・ご家族には、毎月、ご本人の暮らしぶり等をお手紙で伝えておられる。又、事業所全体の便りとともに、ユニットごとにも便りを作り、利用者の日常の様子、事業所の取り組みや行事等、写真を載せて報告されている。	
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	
・自治会の回覧板で、事業所の便り等を回覧していただいた。春のお彼岸には、手作りのおはぎをご近所に配られたり、近隣の神社のもちまきや、地元の商店街のじゃこてん祭りにには利用者も参加された。調査訪問時、体験学習の高校生と利用者の方が楽しそうに語っておられる様子がうかがえた。	

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 医療法人 三善会 丸の内はとぼっぱ

(ユニット名) 青鳩

記入者(管理者)

氏 名 清水 素美子

評価完了日 平成 20年 5月 22日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			リビングに理念を掲げている。		
			(外部評価)		
			事業所の理念やユニットの理念に沿って、地域に出かける機会を作る等、利用者が「楽しく生活」を送れるよう取り組まれている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			「自分らしく暮らしたい」という理念を掲げ、その人らしさを失わないよう、ご家族の意向も取り入れながら支援をしている。		
			(外部評価)		
			ユニットごとに理念を作り、共用空間に掲示する等、職員同士で日々共有しながら支援できるよう取り組んでおられる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議の参加者に、地域の方・ご家族が少ない。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 行事への参加を案内したり、作った菓子を隣近所におすそ分けしたりしているが、立ち寄ってもらえるところまではできていない。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会への参加、祭事への参加をできる限りしている。 (外部評価) 自治会の回覧板で、事業所の便り等を回覧していただいた。春のお彼岸には、手作りのおはぎをご近所に配られたり、近隣の神社のもちまきや、地元の商店街のじゃこてん祭りには利用者も参加された。調査訪問時、体験学習の高校生と利用者の方が楽しそうに語らっておられる様子がうかがえた。		事業所では、近くの商店街を利用する等、利用者の生活を広げていきたいと考えておられる。コミュニティ活動等を通じて、事業所のことや認知症について理解していただきながら、さらに地域との関係性を深めていきたいと考えておられた。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ホーム内の仕事に追われ、地域の高齢者への取組みができていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は全職員が作成し、評価結果はミーティングで報告している。又、文書で回覧している。 (外部評価) 自己評価は、職員個々に取り組み、ユニットごとに管理者がまとめられた。職員間のコミュニケーションの大切さ、自立支援のあり方や外出支援等について、見直す機会とされた。前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、利用者が地域とかかわり生活できるよう取り組みをすすめておられる。		さらに、運営推進会議時等でも評価結果の報告を行う等、事業所のさらなる質の向上に向けて活用の工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			行事報告や研修の報告等をしているが、なかなか出席者からの意見を出してもらえない。		
			(外部評価)		
		運営推進会議時、事業所の取り組みをお話し、外部研修の報告等をされている。現在、ご家族や地域の方の出席は少なめである。		今後、事業所では、さらにご家族や地域の方に会議に出席していただきやすいよう、会議の進め方等にも工夫を重ねていきたいと考えておられた。	
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			月に1度、介護相談員の方に来所していただき、利用者との談話などからホームに対する意見を聞いてもらっている。		
			(外部評価)		
		グループホームの研修等に市の担当者の方も参加され、ともに学んでおられる。			
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修にはできるだけ参加し、参考資料等は回覧している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修に参加して学んだことは、スタッフ間で共有し、虐待防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを実施 していない項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に説明・質問をさせて頂いている。		ご家庭での生活の状態などを詳しく情報を得られないことが多く、介護のヒントを得るまでにはいたっていないので、可能な方には入所前に家庭訪問をさせていただきたい。
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) みんなで利用者会議を開催したり、意見を聞く機会を設け、必要と感じられた方には居室で個々に意見や不満・苦情を聞くようにしているが、まだ全員からは聞けていない。		他の入居者との会話の中で、少し不満が聞こえてくるようになってきたが、直接ではないにしろ聞こえてきているので確認しながら、改善していきたい。
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 来所時に報告をしている。又、遠方のご家族には少なくとも月に1回報告している。必要時にはその都度、連絡をしている。		
			(外部評価) ご家族には、毎月、ご本人の暮らしぶり等をお手紙で伝えておられる。又、事業所全体の便りとともに、ユニットごとにも便りを作り、利用者の日常の様子、事業所の取り組みや行事等、写真を載せて報告されている。		
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時に挨拶等の中で生活ぶりを報告したり、又、話を聞かせて頂いたりしている。又、意見箱を設置している。		もっと意見を聞かせて頂き、よりよい生活ができるようにしていきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時、意見や要望を出してもらえよう働きかけておられる。又、事業所のいもたき会等の行事にも招待されている。		今後、さらにご家族同士が交流できる機会作りや、ご家族から意見を引き出すための工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者会議・主任会議を事業者を交え開催している。又、問題が起きた時等はその都度ミーティングを開き、スタッフ全員で相談している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事があるときは、スタッフの数を増やしたり、必要に応じた勤務人数を確保している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) スタッフの異動はできるだけ少なくしてもらっている。 (外部評価) 職員間で定期的に食事会を持たれたり、休憩時間をとれるような仕組みを作り、職員が働きやすい環境作りに努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 全国グループホーム協会の研修、愛媛県グループホーム連絡協議会の研修、地域での研修があれば、自主的に受講してレポートにて全スタッフで共有している。 (外部評価) 事業所では、外部研修の受講を推進されている。職員は、介護計画作成や認知症ケア等、外部研修で得た知識や情報を探り入れて取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	(自己評価)		
			同業者との交流と勉強の機会はあるが、相互訪問にま では至っていない。		
			(外部評価)		
			市内の9つのグループホームから成る連絡会に参加 し、ネットワーク作りや研修会を通じて、サービス の質向上に向けて取り組んでおられる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	(自己評価)		
			月に1回程度スタッフで食事会を開き、ストレスが軽 減するようにしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組 み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	(自己評価)		
			管理者会議・主任会議を開き、その内容をスタッフ全 員で共有している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困って いること、不安なこと、求めていること等 を本人自身からよく聴く機会をつくり、受 けとめる努力をしている	(自己評価)		
			見学に来られた時にお話をさせて頂き、可能であれば 入所が決まった方のお宅訪問をさせて頂き、お話を聞 かせて頂くようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者本人・ご家族の方から詳しく話を聞かせて頂き、入所後の支援に活かしているが、本音までは聞けていない。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用者ご本人・ご家族の希望を優先して支援するように努めている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学に来られた時に、利用者と一緒にお茶を飲んだり、お話をしてもらったり、少しでも馴染んでもらえるよう努めている。 (外部評価) 職員は、ご家族からも情報を得て、ご本人のこれまでの暮らし方に合わせられるよう努めておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 下ごしらえ・調理方法などを教えて頂きながら、支えあい、共に生活をしている。 (外部評価) 職員は、利用者から山菜料理やおせち料理等を教えていただくこともある。又、利用者がこれまでのことを振り返りながら話される人生訓に共感し、学ばれることも多い。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) お便りで日常を知っていただいたり、面会時にご家族と相談しながら、本人を支える信頼関係を築けるよう努力している。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者のご家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築けるよう努力している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 通院・理美容・買い物等、希望があればできる限りの支援をしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士のトラブルには、中立した立場を取り、本人同士で解決してもらえるよう支援している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所された方もよく遊びに来て頂いているし、行事等にもお誘いし、交流を深めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の生活の中から思いや希望をくみ取るよう努力している。		
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの望みや、これまでの暮らしのことを聴き取り、センター方式のアセスメントシートを活用し、思いや意向の把握に努めておられる。		
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			ご家族や利用者から、今までの生活歴などの情報収集をしている。		
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			介護記録にスタッフ全員が目を通し、共有している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画のためのミーティングを月に1回開き、その時々々の状態に応じた介護計画をご家族にも相談しながらそれぞれの担当者が作成している。(介護支援専門員1名、実践者研修受講済みの介護福祉士2名)		
			(外部評価)		
			ご本人・ご家族の希望や職員の気付きを採り入れ、介護計画を作成されている。		利用者主体のより良い暮らしを支援していくためにも、ご本人はもちろん、ご家族の意見等も十分に採り入れた計画の作成が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			利用者ご本人の思いや状態に合わせたプラン作成に努 めている。		
			(外部評価)		
			6ヶ月ごとの見直しと、入院時等には、介護計画内容 を追加する等、随時の見直しを行ってられる。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			利用者個別の記録があり、スタッフ全員で共有してい る。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			利用者・ご家族の要望には速やかに対応するよう努め ている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の病院受診や美容院に出かける際に同 行されたり、利用者の故郷と一緒に訪ねられたことも ある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 中高一貫校の生徒さんや、近くの幼稚園児、教会の合唱団、カラオケ同好会の方々などのボランティアを受け入れている。又、消防署の協力を得て年に2回避難訓練・防火訓練を実施している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて他の事業者の方と話し合い、他のサービス利用の支援をしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 市のグループホーム連絡協議会に参加している。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者・ご家族の希望を最優先して、かかりつけ医に受診してもらえるよう支援している。 (外部評価) ご家族の協力も得ながら、かかりつけ医を受診できるよう支援されている。歯科医が往診に来てくれるようになっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 事業主が脳神経外科医である。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) スタッフに看護師が3名勤務している。又、ホームドクターと連絡を取りながら健康管理の支援をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院されても早期退院可能な場合、病院関係者と相談しながら退院日を決めたり、お見舞いに行つて状態の把握をし、受け入れ態勢を整えたりしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者・ご家族と話し合いをして方針を決めているが、お元気な方については話し合いが不十分である。		ご家族・主治医・スタッフで話し合い、具体的な方針を決めて行きたいと思う。
			(外部評価) 入居時に、ご本人ご家族に事業所の看取りや終末期の指針に基づき説明をされている。		事業所では、終末期のケア等についての勉強会を重ねていきたいと考えておられる。今後さらに、日々の会話の中でご本人の希望を聞き取られたり、ご家族の要望、事業所の方針等について、繰り返し話し合うような機会作り等も期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 話し合いは不十分である。		スタッフ一丸となって支援する準備をしていきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 少しでも新しい環境に慣れてもらえるよう情報交換に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			言葉かけには、スタッフ全員が気をつけている。又、 気がついたときにはその都度注意をする。		
			(外部評価)		
			利用者の居室に入る際には、必ずご本人に声かけされ ている。		
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	(自己評価)		
			自己決定していただけるよう支援している。		
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	(自己評価)		
			利用者の希望にできるだけ沿うように支援している。		
			(外部評価)		
			ご夫婦で入居されている方へは、お二人の時間を大切 にできるよう支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者が希望するところへできる限りお連れしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好物を聞いたり、献立や買い物を一緒にしたり、調理したりしている。 (外部評価) 調理や配膳、台拭きをされている利用者がうかがえた。これまでは、利用者と職員は、おいしい食事を一緒に作ることに取り組み、同じものを一緒に味わうことで、感じることを共感されていた。現在、法人の方針等もあり、職員はお弁当を持参しての食事となっている。		職員は、利用者と同じものを一緒に食べることの大切さを感じておられ、そのような取り組みから、さらに利用者個々のかかわりを深めていきたいと考えておられた。グループホームでの食事支援についての「質の向上」という観点から、この機会に法人も交えて考えてみられてほしい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ホーム内は禁煙である。それ以外の嗜好品は自由に行ってもらっている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者の状態を理解し、タイミングをみてトイレ誘導をして、排泄の失敗を減らしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	(自己評価)		
			順番は利用者の提案によりじゃんけんで決めている が、時間帯はスタッフの人数が多い日中にしてもらっ ている。夜間帯に希望された場合には安全のため一人 で入浴可能な方のみにしてもらっている。		
			(外部評価)		
			長風呂を望まれる方には、体調等もみながら十分に時 間をかけて入浴できるよう支援されている。時には、 利用者と職員で温泉に出かけ、楽しめることもあ る。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	(自己評価)		
			自室のベッドだけでなく、共有スペースのソファ や、畳の間に自由に過ごされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をして いる	(自己評価)		
			利用者お一人お一人の生活歴や力を活かした役割、 楽しみごとの支援をしている。		
			(外部評価)		
			毎日、隣の神社に参拝し境内を掃除されたり、かまぼ こ板の絵を応募されたり、短歌や俳句をたしなまれ雑 誌や新聞に投稿される等、利用者個々の生活歴を活か しながら、できることを無理なく行えるような支援に 努めておられる。月2回のピアノの日には、懐かしい 歌をみんなで合唱されている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	(自己評価)		
			金銭管理はホームでしているが、能力のある方は自分 で管理されている。又、希望される利用者には職員が 同行またはお一人で買い物を楽しまれている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者のご希望に沿って支援している。又、自主的な散歩兼お参りやホームの買い物にも参加してもらっている。		
			(外部評価)		
			日常的に、散歩や商店街へ買い物に行かれている。毎月、外出を計画し、出かけておられる。テレビで情報を得て、夜間、蛭狩りにも出かけ楽しまれた。		
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			毎月、行事を設け全員で出かけている。(温泉・ドライブ・外食・催事見学等)		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話を使える利用者には自由に掛けて頂いているし、かけたいとご希望がされれば、スタッフが呼び出したり、遠方に居られるご家族に手紙を書いたり、葉書を書いたりしてみませんかと声かけをしている。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも自由に来て頂き、ゆっくり過ごしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全スタッフが拘束は命に関わるとき以外は絶対にし ていけないことと理解している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関の施錠は夜間のみ(21時～6時)で、日中は開放 している。 (外部評価) 玄関は施錠されておらず、利用者は自由に出入りでき るようになっている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在を常に把握するように努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 自己管理できる利用者の方は自分で管理されている。 そうでない方については職員が管理している。必要時 にお渡しするようにしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 研修に参加し、事故防止ができる知識を学んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年に1度、消防署の救命講習を受講している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力により、年1回防災・避難訓練をしている。又、防災機器の点検時にも業者と共に、消火訓練をしている。 (外部評価) ミーティング時、避難経路等、職員で確認し合っている。運営推進会議時、地域の協力をいただけるようお願いされている。事業所では、食糧品等を備蓄されており、定期的に交換されている。		さらに今後も、いざという時に、すべての利用者が安全に避難できるよう、対策や訓練を重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ご家族に説明し、相談をしながら対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、バイタルチェックをし、異状があればホームドクターに連絡している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 投薬表の一覧を看護師が作成し、スタッフルームに掲示してありいつでも閲覧できるようになっている。又変更があった場合は、その都度申し送りノートにて伝達している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取を促し、毎日散歩への声かけをしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、能力に応じた声かけや誘導をしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事には必ず汁物をつけている。又、10時・15時にお茶の時間を設けて水分摂取して頂いている。又、夜間自室でも飲んで頂けるようにフタ付きのストローカップを毎晩用意している。 (外部評価) 職員は、毎月、食事の摂取カロリーを計算し、栄養士から献立の助言をいただく等、栄養のバランスに留意されている。お茶の時間には、コーヒー、ココア、麦茶、ジュース等、好きなものを飲めるよう用意されている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 手洗い・うがいの声掛けをしている。又、手すり・スイッチ等、手が触れる箇所の消毒をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食器は洗浄後、食器洗浄器で洗浄・殺菌をし、まな板・布巾等は消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関には季節の花等を植えている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節ごとの飾り付けをしたり、折り紙で作った利用者の作品も飾っている。		
			(外部評価) 玄関周りに花が飾られており、座って靴が履けるよう長椅子を置かれていた。居間から出られるウッドデッキには、テーブルと椅子が置かれ、庭が眺められるようになっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビング・ソファ・廊下のいす・畳の間等で自由に過ごして頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室には使い慣れた物や、好みの物を置いて、居心地よくして頂いている。		
			(外部評価)		
			居室には、テレビや冷蔵庫、椅子や本等が置かれ、仏壇のお花の水を替えておられる方もうかがえた。自作の短歌や手芸品、ご家族からの母の日に届いたお花の鉢植え等が大切に飾られていた。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、よう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日、2～3回換気を行っている。		
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりを付けている。バリアフリーにして安全な環境作りをしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレ・浴室・洗面所など分かりやすくしたり、言葉は簡潔にして理解して頂けるように努めている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベンチを置いて日光浴や休憩して頂き、周囲には花を植え楽しんでもらっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない (自己評価)	利用者との生活・会話の中で意向をつかむ努力をしている。
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない (自己評価)	思い思いに過ごして頂いていると思う。
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない (自己評価)	干渉しないよう自由に過ごして頂いているが、すべての利用者ではない。
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない (自己評価)	職員が関わることで、生き生きとした表情を見せてくれる方と、見られない方がいる。全ての利用者の生き生きとした表所を見れるように努力している。
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない (自己評価)	どこかへ行きたいという意見のない方も居られるが、希望のある利用者についてはできるだけ希望に添った支援をしている。又、自由に出かけられる。
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない (自己評価)	毎日のバイタルチェックで異状があれば、すぐホームドクターと連絡を取っている。
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない (自己評価)	できるだけ希望に添えるよう柔軟な支援をしている。
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない (自己評価)	訪問時に色々とお話を聴かせて頂いている。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない (自己評価)	ホームを退所された方が、時々訪ねて来られている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている ③あまり増えていない 4 全くない	もっと積極的に働きかける必要性は理解しているが、日々の業務に追われ、運営推進会議を利用して地域住民とのつながりを広げるには至っていない。
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、自分の関わり方がまづかったのでは？もっとよい方法があったのでは？と反省をしているが、共に働く仲間同士ストレス発散したり、意見交換をしながら働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	自立を支援するということで、してあげる介護を止めているが、利用者の中にはしてもらいたいと思っている方もいらっしゃるのでは？
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	元気になるれて一人暮らしをしている方や、要支援 になられた利用者もいらっしゃるので喜んでいるご家族もいらっしゃると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

できることは自分の事として積極的に行えるような働きかけを目標とし、できることが少しずつではあるが増えてきている。日常生活の中で利用者が必要とされている場面、役立っているという実感できる場面を利用者お一人お一人に持って頂けるような支援に努めている。利用者ご自身で考える機会をできるだけ作り、積極的に食事・洗濯・掃除・入浴など基本的な生活に参加してもらえるよう支援している。職員同士の意見交換・情報の共有を重視し、方向性を統一できるように努力している。